保育認定（2・3号）用

令 和 7 年 度
教育・保育給付認定申請書 保育所等利用申込（継続確認）書

記 入 例
（新規申込用）

徳島市長　宛

次のとおり、施設型給付費・地域型保育給付費に係る支給認定（保育認定）を申請します。
なお、[redacted]給付事業に必要な市区町村[redacted]帯情報[redacted]き決定した利用者負担額[redacted]対して[redacted]

徳島[redacted]
次のと[redacted]をしま[redacted]

令和　　年　　月　　日

申請児童	ﾌﾘｶﾞﾅ	トクシマ　ハナコ	性別	生年月日	年齢
	氏　名	徳島　花子	女	平成 令和 2年4月3日 第 2 子	4 歳 R7.4.1現在
保護者	ﾌﾘｶﾞﾅ	トクシマ　タロウ	連絡先	① 090-2222-3333 続柄［ 母 ］ ② 090-3333-4444 続柄［ 父 ］ ③ 090-4444-5555 続柄［ 祖父 ］ ※徳島市からの連絡は、①から順に優先連絡します	
	氏　名	徳島　太朗			
	住所	5 3 浜東２丁目１６番地			
	住所	父 ■ 徳島市内 □ 徳島市外 住所［ ］ 母 □ 徳島市内 ■ 徳島市外 住所［ 徳島県●●市●●町１０００番地の１ ］			
	住所	父 ■ 徳島市内 □ 徳島市外 住所［ ］ 母 □ 徳島市内 ■ 徳島市外 住所［ 徳島県●●市●●町１０００番地の１ ］			
他施設の申込状況（併願の有無）	■ 有（幼稚園等の他施設を別に申込している）		□ 無（本書による申込のみ）		
	申込施設	●●●●幼稚園	※ 市立認定こども園1号と他の保育所等とは併願不可		
申請児童の状況	アレルギーの有無	有 ・ 無	障害・持病等の有無	有 ・ 無	
申請世帯の状況	ひとり親世帯の該当	有 無	世帯員が障害者手帳等を受給	有 無	生活保護の受給 有 無

保育認定申請書

本書による申込以外に、他の施設を申込している場合は記入してください。

保護者は、徳島市に住民登録のある方としてください。

電話番号は、日中に連絡可能な番号を①から順に記入してください。

① 世帯の状況　※ 申請児童を除く 同一敷地内の全員（世帯別でも）を記入、申請児童の父母・兄姉は別居の場合でも記入

	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名	続柄	生年月日	年齢	父母等の就労（予定）先や、児童の利用（申請）施設 等（R7.4.1現在）		備　考	徳島市チェック欄（申請者は記入不要）
1	徳島　太朗	父	S58.1.3	42 歳	就労先・利用施設の名称：●●株式会社	左記の施設等：■ 就労（学）・利用中 □ 就労予定・申請中	単身赴任中	□ 育休明け・短縮予定（～ 年 月 日）
2	徳島　和子	母	S59.1.4	41 歳	●●病院	□ 就労（学）・利用中 ■ 就労予定・申請中		
3	徳島　一朗	兄	H31.4.3	5 歳	●●保育所	■ 就労（学）・利用中 □ 就労予定・申請中		
4	阿波　冬美	祖母	S36.1.6	64 歳	無　職	□ 就労（学）・利用中		
5				歳				

単身赴任中、別居中など、状況に応じて記入してください。

就労内定などの状態にある場合は、必ずチェックしてください。

② 利用希望する期間・施設

利用希望期間	令和 7年 4月 1日 から	■ 小学校就学前まで □ 年 月末日まで			
利用希望施設	第1希望	●●保育所 ■ 兄弟姉妹の在籍あり	第４希望	△△保育所	□ 兄弟姉妹の在籍あり
	第2希望	△△認定こども園 □ 兄弟姉妹の在籍あり			
	第3希望	■■保育所 □ 兄弟姉妹の在籍あり			
希望施設3つ未満の場合は、その理由					

＜利用希望施設に関する注意

利用可能な施設が複数ある場合は、複数施設（2つ以上）をご希望ください。
※1 [redacted]きな加点対象となります。（
※2 [redacted]となります。
※3 [redacted]しており、通常の交通手段で

利用可能な施設が複数ある場合は、複数（原則３つ以上）ご希望ください。
３つ以上ご希望いただくと、利用調整を行う上で、大きな加点対象となります。
※ ただし、利用決定後、自己都合で入所辞退された場合は、以後の利用調整（入所選考）で減点の対象となります。

保育時間は、施設によって異なりますので、必ずご確認ください。

③ 利用希望する保育時間　※ 保育時間は施設により異なるため注意

希望区分	■ 保育標準時間（最長１１時間までの利用）	□ 保育短時間（最長８時間までの利用）
希望時間	平　日	8時 00分 から 17時 00分 まで
	土曜日の保育希望	■ あり □ なし （※ありの場合：下記に希望時間を記入）
	土 曜 日	8時 00分 から 17時 00分 まで

本 申 請 書 の 取 扱 い

希望月からの利用ができない場合	■ 利用できるまで待つ（翌月以降も利用調整希望）
利用調整の希望（育児休業中の方はどちらかにチェックしてください。）	□ 入所が決定されれば、入所月の翌月１５日までに[redacted]
	□ 育児休業の延長を許容できるため、選考時の優先度が下がってもよい。
	注意事項 1．チェックをすることにより、優先指数が減点されます。 2．利用調整の結果、施設に空き等がある場合は、利用決定となります。

希望月に入所できなかった場合、「翌月以降も継続して利用調整（入所選考）を希望するかどうか」を選択してください。

④ 保育を必要とする事由　※ 該当する箇所にチェック

区分	類型	父	母	具体的な状況			
01	就　労	レ		就労日数月20日以上	月 160 時間以上　の就労を常態		20
02					月 140 時間以上　～　160 時間未満　の就労を常態		18
03					月 120 時間以上　～　140 時間未満　〃		16
04					月 100 時間以上　～　120 時間未満　〃		14
05					月 64 時間以上　～　100 時間未満　〃		12
06				就労日数月20日未満	月 160 時間以上　の就労を常態		20
07					月 140 時間以上　～　160 時間未満　の就労を常態		16
08			レ		月 120 時間以上　～　140 時間未満　〃		14
09							12
0A							10
11	妊娠・出産			妊娠・出			16
21	保護者の疾病・障害			疾病	通院	週 4 日以上	20
22							16
23							12
24					自宅療養	常時床臥、感染症　等	20
25						上記以外で日常生活に著しく支障があり、他者の介助が必要	16
26						一般療養（運動・外出等の制限ありだが、身の回りのことは自分で可）	12
27				障害	介護を要する（身体 1～2級、精神 1級、療育Ａ、要介護度 3～5）		20
28					保育に支障がある（身体 3級以下、精神 2級以下、療育Ｂ、要介護度 1～2）		14
29					上記以外で保育の必要性がある（要介護度 要支援　等）		8
31	親族の介護・看護			月 160 時間以上　の介護・看護を常態			18
32				月 140 時間以上　～　160 時間未満　の介護・看護を常態			16
33				月 120 時間以上　～　140 時間未満　〃			14
34				月 100 時間以上　～　120 時間未満　〃			12
35				月 64 時間以上　～　100 時間未満　〃			10
41	災害復旧			火災等による家屋の損傷、その他災害復旧のため保育ができない場合			20
51	求職中			求職活動または自営準備のため、外出することを常態とする場合			4
61	就学中			職業訓練校・専門学校・大学等に就学中である場合	居宅外での就学	月 160 時間以上の就学を常態とする	18
62						月 140 時間以上　～　160 時間未満の就学を常態	16
63						月 120 時間以上　～　140 時間未満　〃	14
64						月 100 時間以上　～　120 時間未満　〃	12
65						月 64 時間以上　～　100 時間未満　〃	10
66					居宅内での就学（通信教育等）		6
71	虐待・ＤＶ			虐待・ＤＶ等を受けている又は受ける恐れがある場合			20
81	育児休業中の継続利用			1年未満の育児休業を取得する保護者で、現に3箇月を超える期間、認可保育施設（事業所内保育施設 従業員枠を除く）を利用している児童がいる場合			20
91	その他			両親が不在（死亡、行方不明、拘禁　等）			20
92		－	－	その他、保育を必要とする事由に類し、特に保育の必要性が高いものと認められる場合			－

就労の場合は、就労日数・時間について、勤務先から発行された就労証明書を参照のうえでチェックしてください。

＜ 記 入 の 際 の 注 意 事 項 ＞

■ **利用可能な施設が複数ある場合は、複数（原則３つ以上）ご希望ください。**
３つ以上ご希望いただくと、利用調整（入所選考）を行う上で、大きな加点対象となります。
※ ただし、利用決定後、自己都合で入所辞退された場合は、以後の利用調整（入所選考）で減点の対象となります。

■ **黒ボールペンで記入**してください。（**消すことができるボールペンや修正ペン・テープは使用不可**です。これらを使用していた場合は再提出していただきます。）また、本申請書は、**申請児童１人につき、１枚作成**してください。

■ **市立認定こども園の幼稚園部分（1号認定）は、同施設の保育所部分（2号認定）や、他の認可保育施設（2号認定）との同時申込（併願）はできません。**

■ 「①　世帯の状況」欄は、**申請児童の20～64歳の同居親族（別世帯であっても、同住所に居住している親族を含む）全員を記入**してください。また、**申請児童の父母・兄姉については、別居の場合でも記入**してください。

■ **4月入所 1次申込**（受付期間：令和6年10月21日～11月6日）の際は、本申請書は、**第1希望施設 または 子ども保育課（要予約）のいずれかに提出**してください。（4月入所 2次申込（受付期間：令和6年11月7日～）以降は、子ども保育課（予約不要）へ提出してください。）

■ **個人情報の取扱について**
本申請書・添付書類等については、教育・保育給付認定、保育所等の利用調整・入所、保育料の算定並びに関係通知の発送に係る手続き等、保育所等に関する事務以外の目的には利用しません。

保育認定（2・3号）用

令 和 7 年 度
教育・保育給付認定申請書 保育所等利用申込(継続確認)書

受付場所	課 ・ 施設
市受付印	

徳島市長　宛

次のとおり、施設型給付費・地域型保育給付費に係る支給認定（保育認定）を申請します。
なお、徳島市が施設型給付費等の教育・保育給付認定、利用者負担額、副食費徴収免除及び補足給付事業に必要な市区町村民税の情報(同一世帯者を含む)及び世帯情報を閲覧・調査すること、また、その情報に基づき決定した利用者負担額等について、特定教育・保育施設等に対して提示することに同意します。

徳島市福祉事務所長　宛

次のとおり、保育所等の利用申込(継続確認)をします。

令和　　年　　月　　日

申請児童	ﾌﾘｶﾞﾅ		性別	生年月日	年齢
	氏　名			平成・令和　年　月　日 第　子	歳 R7.4.1現在
保護者	ﾌﾘｶﾞﾅ		連絡先	① 続柄［　］ ② 続柄［　］ ③ 続柄［　］ ※徳島市からの連絡は、①から順に優先連絡します	
	氏　名				
	住　所	〒			
		令和6年1月1日の住所	父	□ 徳島市内　□ 徳島市外　住所：［　］	
			母	□ 徳島市内　□ 徳島市外　住所：［　］	
		令和7年1月1日の住所	父	□ 徳島市内　□ 徳島市外　住所：［　］	
			母	□ 徳島市内　□ 徳島市外　住所：［　］	
他施設の申込状況（併願の有無）	□ 有（幼稚園等の他施設を別に申込している）		□ 無（本書による申込のみ）		
	申込施設	※ 市立認定こども園1号と他の保育所等とは併願不可			
申請児童の状況	アレルギーの有無	有　・　無	障害・持病等の有無	有　・　無	
申請世帯の状況	ひとり親世帯の該当	有　・　無	世帯員が障害者手帳等を受給	有　・　無	生活保護の受給　有　・　無

① 世帯の状況　※ 申請児童を除く 同一敷地内の全員（世帯別でも）を記入、申請児童の父母・兄姉は別居の場合でも記入

	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名	続柄	生年月日	年齢	父母等の就労(予定)先や、児童の利用(申請)施設 等 (R7.4.1現在)		備　考	徳島市チェック欄（申請者は記入不要）
1				歳	就労先・利用施設の名称	左記の施設等に □ 就労(学)・利用中 □ 就労予定・申請中		□ 育明け・短縮予定（～　年　月　日） □ 就労内定 □ 保育士等 □ 卒園児等 □ 1→2号 □ 兄弟が利用中 □ 兄弟で同時申込（同月同・同月別・一人でも先）
2				歳		左記の施設等に □ 就労(学)・利用中 □ 就労予定・申請中		
3				歳		左記の施設等に □ 就労(学)・利用中 □ 就労予定・申請中		
4				歳		左記の施設等に □ 就労(学)・利用中 □ 就労予定・申請中		
5				歳		左記の施設等に □ 就労(学)・利用中 □ 就労予定・申請中		

② 利用希望する期間・施設

利用希望期間	令和　年　月　日　から	□ 小学校就学前まで □ 年　月末日まで		
利用希望施設	第1希望	□ 兄弟姉妹の在籍あり	第4希望	□ 兄弟姉妹の在籍あり
	第2希望	□ 兄弟姉妹の在籍あり	第5希望	□ 兄弟姉妹の在籍あり
	第3希望	□ 兄弟姉妹の在籍あり	第6希望	□ 兄弟姉妹の在籍あり
希望施設3つ未満の場合は、その理由			第7希望以降	

＜利用希望施設に関する注意事項＞

利用可能な施設が複数ある場合は、複数施設（3つ以上）をご希望ください。

※1　3つ以上希望した場合は、**利用調整を行う際に大きな加点対象**となります。（利用可能な施設が3つ未満しかない場合は、3つ未満の希望でも加点）
※2　**利用決定後、入所辞退をした場合は、減点対象**となります。
※3　利用可能な施設：開所時間が保護者の希望を満たしており、通常の交通手段で自宅から20～30分未満で登園が可能な施設

③ 利用希望する保育時間　※ 保育時間は施設により異なるため注意

希望区分	□ 保育標準時間（最長11時間までの利用）　□ 保育短時間（最長8時間までの利用）	
希望時間	平　日	時　分　から　時　分　まで
	土曜日の保育希望	□ あり　□ なし　（※ありの場合：下記に希望時間を記入）
	土　曜　日	時　分　から　時　分　まで

本 申 請 書 の 取 扱 い

希望月からの利用ができない場合	□ 利用できるまで待つ（翌月以降も利用調整希望）　□ 申請を取り下げる（翌月以降の利用調整不要）	
利用調整の希望（育児休業中の方はどちらかにチェックしてください。）	□ 入所が決定されれば、入所月の翌月１５日までに育児休業から復職する。	
	□ 育児休業の延長を許容できるため、選考時の優先度が下がってもよい。	
	注意事項	1．チェックをすることにより、優先指数が減点されます。 2．利用調整の結果、施設に空き等がある場合は、利用決定となります。

④ 保育を必要とする事由 ※ 該当する箇所にチェック

区分	類型	父	母	具体的な状況			
01	就　労			就労日数 月20日以上	月 160 時間以上 の就労を常態		20
02					月 140 時間以上 ～ 160 時間未満 の就労を常態		18
03					月 120 時間以上 ～ 140 時間未満 〃		16
04					月 100 時間以上 ～ 120 時間未満 〃		14
05					月 64 時間以上 ～ 100 時間未満 〃		12
06				就労日数 月20日未満	月 160 時間以上 の就労を常態		20
07					月 140 時間以上 ～ 160 時間未満 の就労を常態		16
08					月 120 時間以上 ～ 140 時間未満 〃		14
09					月 100 時間以上 ～ 120 時間未満 〃		12
0A					月 64 時間以上 ～ 100 時間未満 〃		10
11	妊娠・出産			妊娠・出産のため、保育ができない場合			16
21	保護者の疾病・障害			疾病	入院	1 箇月以上	20
22						2 週間を超え、1 箇月未満	16
23					通院	週 4 日以上	12
24					自宅療養	常時臥床、感染症 等	20
25						上記以外で日常生活に著しく支障があり、他者の介助が必要	16
26						一般療養（運動・外出等の制限ありだが、身の回りのことは自分で可）	12
27				障害	介護を要する（身体 1～ 2級、精神 1級、療育Ａ、要介護度 3～5）		20
28					保育に支障がある（身体 3級以下、精神 2級以下、療育Ｂ、要介護度 1～2）		14
29					上記以外で保育の必要性がある（要介護度 要支援 等）		8
31	親族の介護・看護			月 160 時間以上 の介護・看護を常態			18
32				月 140 時間以上 ～ 160 時間未満 の介護・看護を常態			16
33				月 120 時間以上 ～ 140 時間未満 〃			14
34				月 100 時間以上 ～ 120 時間未満 〃			12
35				月 64 時間以上 ～ 100 時間未満 〃			10
41	災害復旧			火災等による家屋の損傷、その他災害復旧のため保育ができない場合			20
51	求 職 中			求職活動または自営準備のため、外出することを常態とする場合			4
61	就 学 中			職業訓練校・専門学校・大学等に就学中である場合	居宅外での就学	月 160 時間以上の就学を常態とする	18
62						月 140 時間以上 ～ 160 時間未満の就学を常態	16
63						月 120 時間以上 ～ 140 時間未満 〃	14
64						月 100 時間以上 ～ 120 時間未満 〃	12
65						月 64 時間以上 ～ 100 時間未満 〃	10
66					居宅内での就学（通信教育等）		6
71	虐待・ＤＶ			虐待・ＤＶ等を受けている又は受ける恐れがある場合			20
81	育児休業中の継続利用			1年未満の育児休業を取得する保護者で、認可保育施設（事業所内保育施設 従業員枠を除く）を利用している児童がいる場合 ※小規模保育事業等の卒園等の場合のみ適用			20
91	その他			両親が不在（死亡、行方不明、拘禁 等）			20
92		－	－	その他、保育を必要とする事由に類し、特に保育の必要性が高いものと認められる場合			－

※ 別紙「児童状況届」も必ず記入し、本申請書とともに提出してください。

以下は、徳島市記入欄のため、記入しないでください

種別	区分		該当	備考
保護者の状況	ひとり親	16		
	生活保護	4		
	生計中心者の失業	4		
	虐待・ＤＶ	20		
	育休明け	14		
	保護者の一方不在	10		
	多胎児妊娠	2		
	転所が特に必要	6		
	保育士等	18		
	認可外・職場内・一時預	4		
	未就労 → 就労内定	12		
	環境変化に伴う保育困難	8		
児　童の状況	申請児童に障害あり	3		
	卒園児・受入年齢終了児	23		
	同施設内で1→2号	13		
	認可外施設が認可へ移行	23		
	待機が1箇月以上継続	3		
	申請児童が第3子以降	3		

種別	区分		該当	備考
兄弟姉妹の状況	兄弟姉妹の利用施設を希望	17		
	兄弟姉妹で同施設を同時申請	5		
	兄弟姉妹に家庭保育児あり	(5)		
世　帯の状況	全親族が死亡・市外居住等	3		
	援助可能な親族が同居	(10)		
	援助可能な親族が別居	(1)～(3)		
	市外居住（転入予定除く）	(20)		
その他	辞退履歴あり	(15)		
	利用調整の希望欄（注意事項１）	(50)		
	複数希望あり	20		
	その他（保育必要性高）	－		

優先1 (DV)	優先2 (災害)	優先3 (卒園)	優先4 (保育士)	優先5 (ひと親)	優先6 (兄弟)	優先7 (育休)	優先8 (保必)	優先9 (合計)	優先10 (児童数)
0・1	0・1	0・1	0・1	0・1	0・1		0・1		

申請書 配布施設

基準点		優先点		指数合計	

加算施設		加算点	

受付	システム		指数計算		ＡＩ取込データ			申請書情報			
	入力	確認	計算	確認	入力	確認		年度	保育所等コード・施設名		受付番号
								R7			